

授業科目	旅行産業論				単位	2		
履修	選択	関連資格			ナンバリング	TO21410J		
開講年次	3・4年	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP4-1			
担当教員	池口 功晃							
授業概要	2018年の訪日外国人数は3,000万人を超えました。この授業では最近急増するインバウンドの現況とインバウンドビジネスの基礎知識を学びます。また訪日客の約8割はアジア諸国等(韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール)の人々であることから、これらの国々の観光・旅行業界の構造と最新トピックスを説明します。具体的には①経済・政治情勢 ②外国旅行の動向 ③訪日旅行の動向 ④旅行業界および航空業界の流通構造 ⑤観光プロモーションなどを詳しく説明します。							
学生が達成すべき行動目標	1. インバウンドの現況と各国の観光・旅行業界の構造を理解することができる。 2. アジア各国の観光・旅行業界の最新トピックスを理解することができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	50	50	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)		20	20				40	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)		30	30				60	
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
インバウンドの現況とアジア各国の観光・旅行業界の最新トピックスを自ら説明することができる。				インバウンドの現況と各国の観光・旅行業界の構造を理解することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	インバウンドの現況			講義		復習		50

2	インバウンドビジネスの基礎知識	講義	復習	50
3	韓国の観光業界の構造	講義	復習	50
4	韓国の観光業界の最新トピックス	講義	復習	50
5	中国の観光業界の構造	講義	復習	50
6	中国の観光業界の最新トピックス	講義	復習	50
7	台湾の観光業界の構造	講義	復習	50
8	台湾の観光業界の最新トピックス	講義	復習	50
9	香港の観光業界の構造	講義	復習	50
10	香港の観光業界の最新トピックス	講義	復習	50
11	タイの観光業界の構造	講義	復習	50
12	タイの観光業界の最新トピックス	講義	復習	50
13	シンガポールの観光業界の構造	講義	復習	50
14	シンガポールの観光業界の最新トピックス	講義	復習	50
15	総まとめ	講義	復習	50
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				

27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	日頃からインバウンドとアジア各国の情勢について耳を傾けるように心がけてください。			
テキスト	随時、講義レジュメを配付する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	高井典子・赤堀浩一郎(2014)『訪日観光の教科書』創成社			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	近年、訪日観光客が増加していますが、そのほとんどがアジア各国からの観光客です。彼らがどのような時期にどのような目的で来日しているのか、最新トピックスを踏まえしっかりと学びましょう。			
達成度評価に関するコメント	観光業界への就職を考えている学生は履修することをお勧めします。			